様式１

令和２年度補正予算

大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学修機会の確保 計画調書

学校法人・学校名：

※　本計画調書の作成に当たっては、あらかじめ「大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学修機会の確保　補正予算の申請・執行に関する基本的な考え方」（令和２年４月３０日　文部科学省高等教育局）を十分参照いただいた上で、記載方お願いします。

なお、授業の実施については、「大学等における本年度後期等の授業の実施と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について」（令和２年９月１５日付け２文科高第５４３号。）等に御留意いただきながら、同感染症の拡大防止と学生の学修機会の確保の両立に努めていただきますようお願いします。

|  |  |
| --- | --- |
| 計　画　名 |  |
| 遠隔授業を実施する場所（キャンパス所在地） |  |
| 「緊急性」に係る事項 | 　[ ] 　緊急性順位１　特に重点的に感染拡大の防止に向けた取組を進めていく必要がある「特定警戒都道府県」の区域に所在する大学・短期大学・高等専門学校（キャンパス）　　　　　　　　　　（　　　　　　）　[ ] 　緊急性順位２　緊急事態宣言の対象区域に属する都道府県にあって、施設の使用制限や地域の移動制限に係る要請が発出されている都道府県に所在する大学・短期大学・高等専門学校（キャンパス）　　　　　　　　　　（　　　　　　）　[ ] 　緊急性順位３　大学・短期大学・高等専門学校（キャンパス）が所在する地域にクラスターが発生するなど、感染症対策の緊急性が高まっている地域に所在する大学・短期大学・高等専門学校（キャンパス）　　　　　　　　　　（　　　　　　）　[ ] 　緊急性順位４　その他特別な事情により、遠隔授業の実施に係る緊急性が高い大学・短期大学・高等専門学校（キャンパス）　　　　　　　　　　（　　　　　　） |
| 緊急性についての補足説明 |  |
| 事 業 経 費 | 総事業費：　　　　　　千円（うち補助対象事業経費：　　　　　　千円） |
| １．これまでの遠隔授業の実施及び準備状況２．「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和２年４月２０日変更閣議決定）を踏まえた遠隔授業の実施計画３．２．のうち補助金を活用した具体的な取組内容 |

※１　記載内容は具体的かつ簡潔明瞭なものとし、Ａ４縦３枚以内に収めてください。

※２　「補正予算の申請・執行に関する基本的な考え方」のうち、「（３）計画性・効率性・実現性・その他留意事項について」に係る取組内容が分かる資料を別途添付してください。様式は自由（PPT資料なども可能）で、既存資料を最大限活用して構いません。ただし、枚数は多くとも概ね10枚程度にしてください。

※３　ページが複数となる場合は、総ページ入りのページ番号を入れてください。